

事例NO. 80

事例キーワード

認定リサイクル製品の使用
建設副産物の有効利用

| | |
|---------|---|
| 事業名 | 河川改修事業 |
| 事業担当機関 | 由利地域振興局 建設部 企画・建設課 |
| 工事期間 | 平成28年9月9日～平成29年4月28日 |
| 実施場所 | 芋川（桂川）（由利本荘市岩谷麓地内） |
| 事業概要 | <p>工事費 85百万円</p> <p>工事概要 施工延長99.1m、河川土工、法覆護岸工、分土工、付帯工</p> <p>事業の目的 1級河川芋川の支川である桂川は、河川断面が小さく、蛇行を繰り返している河川であり、豪雨による家屋の浸水や農地・国道の冠水等の氾濫被害を繰り返してきている。平成10年8月の豪雨では家屋522戸の浸水被害が発生したことによって、重点的に河川改修を推進してきたが、当該工事の完了によって桂川の改修工事は全て完了し、氾濫被害からの保全が図られる。</p> |
| 環境配慮の内容 | <ul style="list-style-type: none">開削工事は濁水となる冬期間に実施したほか、仮締切により下流への濁水流出の低減を図った。発生残土は工区外へ搬出し、別途河川工事（芋川本川工事）への流用を図った。間伐材を使用した工事名標示板のほか、県認定リサイクル製品の溶融スラグ入り側溝などを使用した。 |
| 施工後の状況 | <ul style="list-style-type: none">当該工事完了後は下流域への濁水等の影響は無かった。（融雪や集中豪雨等による影響は除く）発生残土を芋川（本川）河川改修に有効活用したことで築堤等の整備が推進され、その後の豪雨では芋川の氾濫被害の軽減に寄与することができた。溶融スラグ入りのコンクリート側溝を使用したことで県内のリサイクル関連産業の活性化と公共事業における循環型社会の構築に寄与することができた。 |

図面、写真、説明

